

唐湊果樹園の花弁花木班を担当しての93年度の実状

谷村音樹

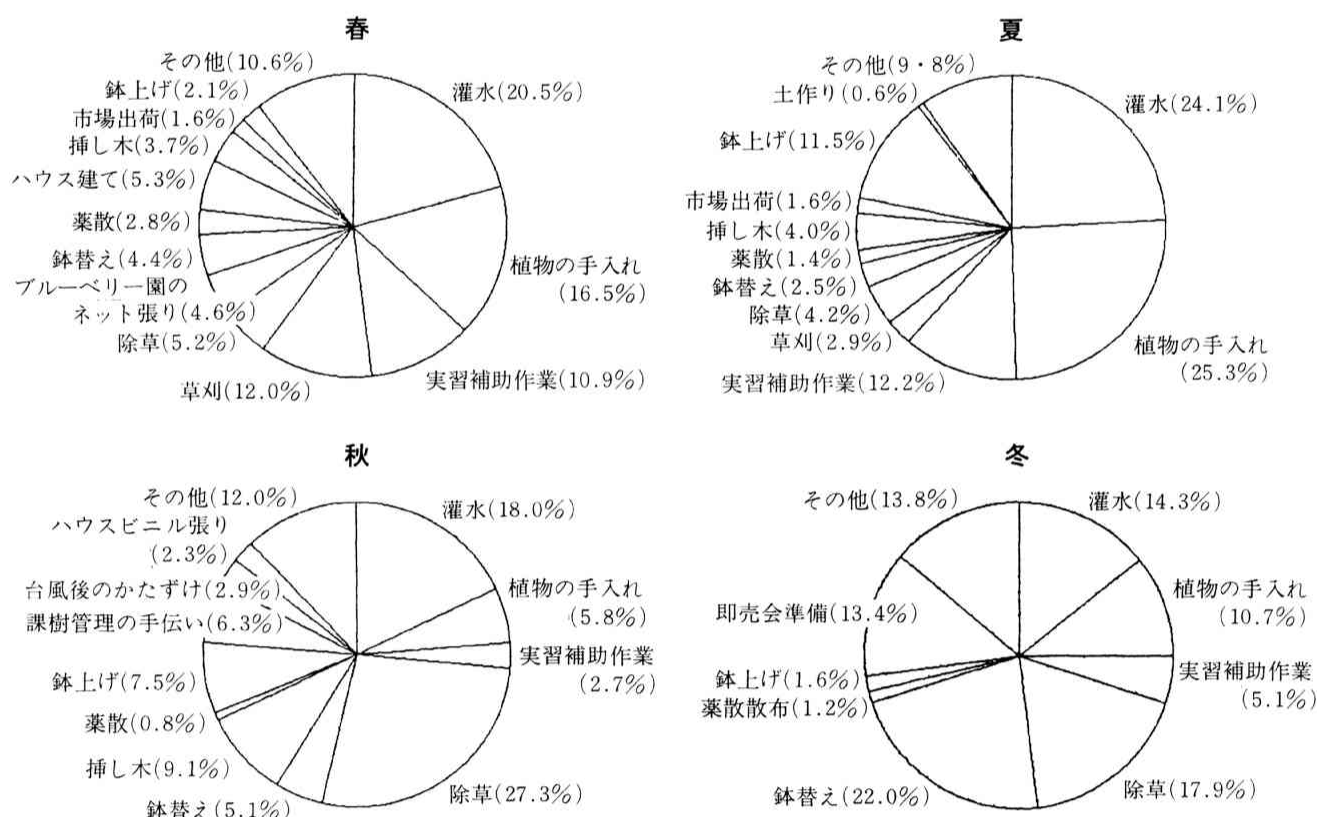
はじめに

私は、1993年の4月から唐湊果樹園に勤務している。果樹園では花弁花木の栽培管理を担当している。

この発表会では、1993年の4月から12月まで実施してきた作業内容と花卉類の生産計画及び、研究の中心テーマである鉢物生産及び管理（一例としてミニバラの鉢栽培）の技術体形確立への努力目標について発表する。

I 担当する花卉部門での季節別業務労働配分（実績）の分析

① 担当した花卉管理作業の主な項目と時間配分の比較



② 季節による作業項目別所要時間

	春	夏	秋	冬		春	夏	秋	冬
灌水	64時間 5分	61時間55分	61時間30分	35時間55分	挿し木	11時間30分	10時間25分	31時間 5分	
植物の手入れ	51時間40分	65時間10分	19時間45分	27時間 5分	市場出荷	5時間	4時間		
実習補助作業	34時間10分	31時間20分	9時間20分	12時間50分	鉢上げ	6時間30分	29時間30分	25時間30分	4時間
草刈	37時間40分	7時間20分			その他	33時間20分	25時間 5分	41時間	34時間50分
除草	16時間10分	10時間50分	93時間20分	45時間10分	土作り		1時間30分		
ブルーベリーネット張り	14時間20分				果樹管理の手伝い			20時間30分	
鉢替え	13時間35分	6時間30分	17時間30分	55時間30分	台風後のかたづけ			10時間	
薬剤散布	8時間35分	3時間40分	2時間50分	3時間	ハウスピニル張り			8時間	
ビニールハウス建て	16時間30分				即売会準備				33時間40分
					合計時間	313時間5分	257時間15分	340時間20分	271時間5分

II 主な花卉鉢物の生産計画（経営）

（1）施設栽培の部

（単位：鉢、円）

生産物名	生産予定数量	販売予定数量	単価	金額
ミニバラ	500	350	400	140,000
ランタナ	1,000	700	200	140,000
カランコエ	350	300	150	45,000
バーベナ	350	300	100	30,000
アイビーゼラ	150	100	150	15,000
合計	2,350	1,750		370,000

（2）育苗場及び露地栽培の部

（単位：鉢、円）

生産物名	生産予定数量	販売予定数量	単価	金額
ブルーベリー	800	500	400	200,000
ツツジ	1,000	800	300	240,000
アザレア	1,000	500	500	250,000
サツキ	500	300	2,000	600,000
その他	800	500	150～800	250,000
合計	4,100	2,600		1,540,000

（1）と（2）の合計金額は、1,910,000円

その他（ビクリグミ、紅カナメ、サルスベリ、ストロベリーグアバ、ツバキ、ヒネム、ツゲ、ソテツ、モクマオ、他）

III 耕種基準的な唐湊方式の設定

中心テーマである花卉鉢物生産の技術確立への努力

施設栽培（ハウス栽培）での、ミニバラの耕種基準となるべき栽培法の要点

1. 置き場所

日当たりの良い、風通しの良い場所であること。（夏は、日差しに弱いので必ず寒冷紗をかける。）

2. 灌水

鉢土の表面が乾いたら、鉢底から水が流れ出るまでたっぷりやる。（1鉢あたり約1ℓの目安）

3. 追肥

骨粉と油粕を合わせたもの単用とする。1：1の割合で混ぜたものを使用する。ほぼ20日置きに施用（1回あたり約50g）鉢上げ、鉢替えをした場合は1週間後にやる。

4. 病虫害

病害は、特に黒点病予防、害虫はアブラムシ、ハダニ等の重点駆除にポイントを置く。病虫害に気づいたらすぐに薬剤散布をする。

5. 挿し木及び挿し木方法

挿し木が年間を通して可能なので、年2回挿し木を行い、年間の各50%ずつ生産を実施する。（6月－1回目、12月－2回目）

挿し木後1ヵ月ほど鉢上げ（ポリ鉢3号）

挿し木方法は、花が咲き終わった新梢枝を使用し、5枚葉の新梢枝に、芽を2～3芽つけて枝を切り分けて、葉を半分くらい切り落とし、根元を斜めに切り返して鹿沼土に挿す。鹿沼土は、挿す前に十分湿らせておく。挿した芽は、必ず寒冷紗をかける。発根を良くするために、発根剤（オキシベロン）を使用する。

6. 鉢替え

鉢替えは、鉢上げ後約1ヵ月くらいで行い。ポリ鉢3号から仕上げ鉢として白プラ鉢4.5号に替える。

7. 管理一般

- 毎日、朝早くと夕方作業終了前に見てまわる。
- 除草、中耕は、毎月必ず一回実施する。
- 出荷前までは、咲いた花は全部摘み取る。
- 枯れ葉、枯れた花は、即座に摘み取る。
- 形を整えるために、枝と枝が重なったら随時整枝剪定を行う。

8. その他

生産計画は、初年度は500鉢、3年後に2000鉢として年間平均1500～2000鉢を常時生産することを目標とする。